

# 保健室だより

平成 22 年 7 月発行  
大正大学保健室

夏はキャンプや山登りに、川遊びなどアウトドアが楽しい季節です。しかし、楽しみと背中あわせに危険もいっぱいです。

今月は、野山に限らず、都市でも多くの被害が報告されている「蜂刺され」を特集します。

東京消防庁管内では、平成 18 年から平成 20 年までの 3 年間で、蜂に刺されたことによる救急事故全体の人数は、約 1 千人を数えたと発表がありました。



## ●蜂にさされたらどうなるの？

蜂と聞くと、その鋭い毒針で刺され、毒が回って死に至ると思っ  
ている人も多いかもしれませんが、毒そのものが直接命に関わることは  
ありません。

一般的には蜂にさされると、**刺された所が激しく痛み、赤くはれあ  
がる**、などの局所症状が起こり、数日で治まります。

しかし、一部の人には、**アナフィラキシー**と呼ばれるショック症状  
が起こることがあります。

## ●アナフィラキシーとは？

ハチの毒や食物や薬などに対して起こる**急性のアレルギー反応**の  
ことです。下記のような全身症状が起こります。

- ・軽症：全身の皮膚の赤みやかゆみ、またはじんま疹など。
- ・中等症：息苦しさ、胸の締めつけ感、吐き気や腹痛など。
- ・重症：血圧低下、呼吸困難、まれに死亡すること。

※ハチ毒によるアナフィラキシーは、**ほぼ 85%の割合で、15 分以  
内に起こります。**

**初めてのハチ刺し事故でもアナフィラキシーを起こすことがあり  
ます。**

**また、前回刺された時は、局所症状でおさまっていたとしても、再  
度のハチ刺し事故でアナフィラキシーが起こることがあります。**

## ●蜂に刺された！【対処法】

針が残っていたら直ちに取り除き、刺された患部を流水で洗い流し、冷やすようにします。そして、**アナフィラキシーかと思われる場合**や、少しでも様子がおかしいと感じる場合は、**救急車を呼ぶ！・直ちに受診する！**など速やかに対処しましょう。

アナフィラキシーではなさそうでも、あとから腫れることもあるので、一度、病院受診することをおすすめします。

## ●蜂に刺されないように！【予防法】

大切なことは、蜂に刺されないように予防することです。

- ①蜂の巣にはむやみに近づかない。
- ②臭いの強い化粧品・香水は蜂を刺激するので注意する。
- ③黒い色に対して攻撃性が強くなるので、身につけるものは、黒い色のものを避け、肌は露出しない。
- ④蜂が近づいてきたら頭を隠すように低い姿勢をとる。  
蜂が近づいても手で払ったりしない。
- ⑤洗濯物を取り込むときに、蜂が紛れていないか確認する。

出典：見附市役所 HP



出典：アナフィラキシー対策フォーラムHP